

長野俊英高等学校(通信制課程)開校後の状況について

県民文化部県民の学び支援課

概要

- 1 名称 長野俊英高等学校 通信制課程(狭域) 校長 荒木 博昭
 2 教育区域 長野県
 3 位置 長野市篠ノ井御幣川1045
 4 設置者 学校法人 篠ノ井学園 理事長 窪田 英一
 5 学則定員 120人
 6 開校年月日 令和4年4月1日

1 生徒数(5月1日時点)

(単位:人)

	1年	2年	3年	合計	申請時計画	定員
R4						
R5						
R6						
うち新生 (応募者数)						
県外出身者						

- ・令和5年度までに引き続き、令和6年度も当初計画よりも生徒が確保できなかった。

2 教職員数(11月末日時点)

(単位:人)

		校長	教頭	教諭	助教諭	講師	養護教諭	事務職員	合計
計画	計	1	1	8	0	0	1	1	12
	専任	0	1	1	0	0	0	0	2
	兼任	1	0	7	0	0	1	1	10
R6	計	1	1	9	0	0	1	1	13
	専任	0	1	0	0	0	0	1	2
	兼任	1	0	9	0	0	1	0	11
差	計	0	0	1	0	0	0	0	1
	専任	0	0	▲1	0	0	0	1	0
	兼任	0	0	2	0	0	0	▲1	1

3 教育の特徴等

- ・生徒の個人的な関心に根差した探究を「俊英の時間(総合的な探究の時間の一部)」として認めてきた。現在、その取り組みを活かし R5 年度よりアニメーターやカメラマンとして活躍し始めた卒業生がいる。また、数学をこれまで学んだことがない生徒がいたことから、R6 年度から数学 I を 4 単位での展開として基礎から学べるようにした。さらにより表現力を伸ばすため音楽 I を開講した。
- ・常時、教員 3 名事務職員 1 名による、自由登校日の学習指導、進路指導、学校生活相談に対応できる体制を敷いている。加えてスクーリング日には 4~6 名まで数を増やした体制を敷き手厚い体制で教育活動に当たっている。落ち着いた静かな学習環境が保たれており乱れはない。また、全日制と兼任の教員がスクーリングを受け持っているため、生徒の特

性を理解しており教師と生徒と良好な関係が保たれ丁寧な学習指導が行われている。課題としては、これからの在籍生徒増加による教員の確保である。

- ・スクーリングに出られない、レポート提出も遅れている不活動生徒には、生徒個々の特性を見極めた学習方法を提案している。例えば保護者同伴でなければ登校できない生徒には、保護者同伴のスクーリング受講を認めている。進路相談や面接指導を随時行うことにより、大学から就職まで幅広い進路実現ができています。

4 収支決算